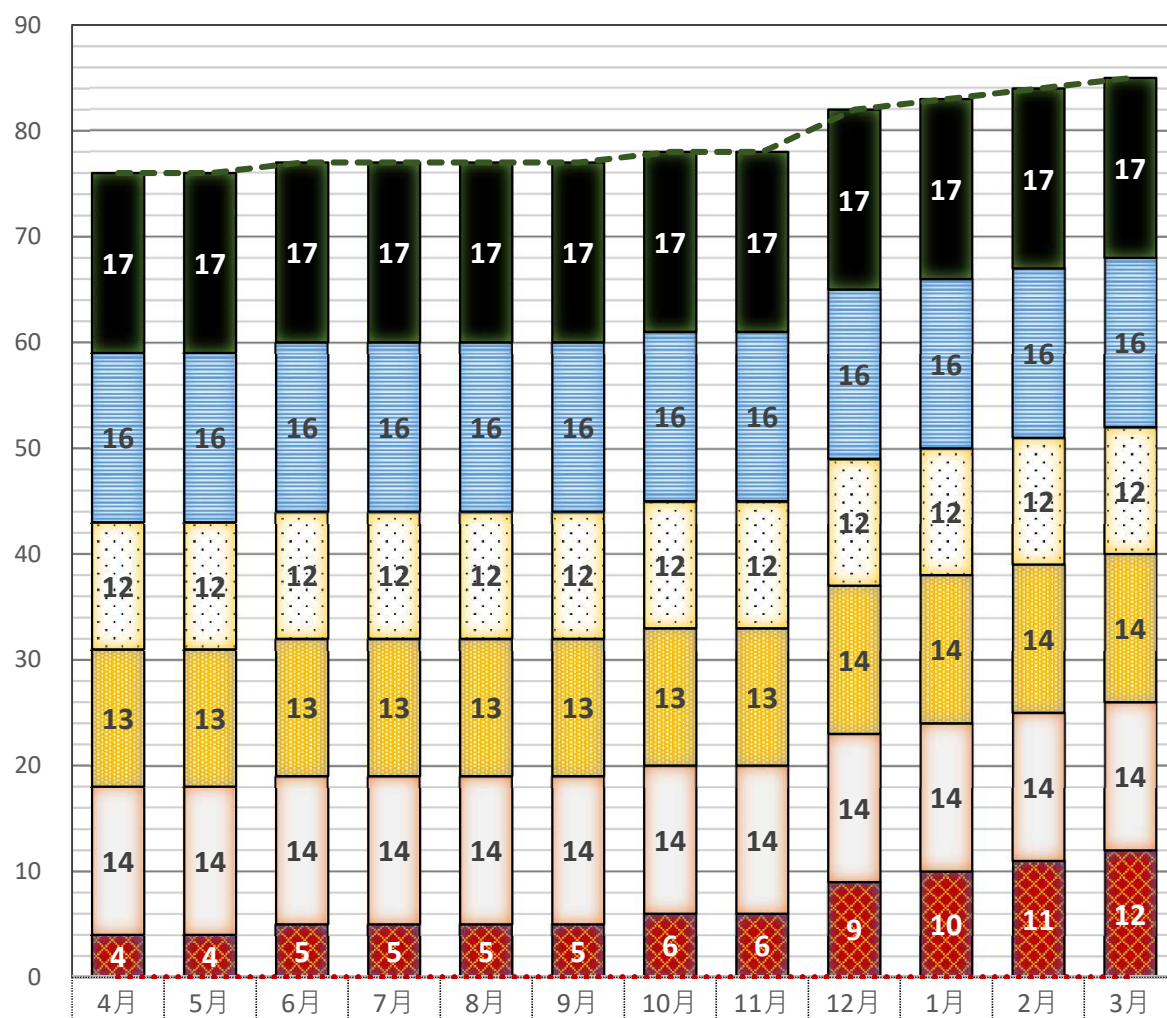


令和 6 年度 事業報告書

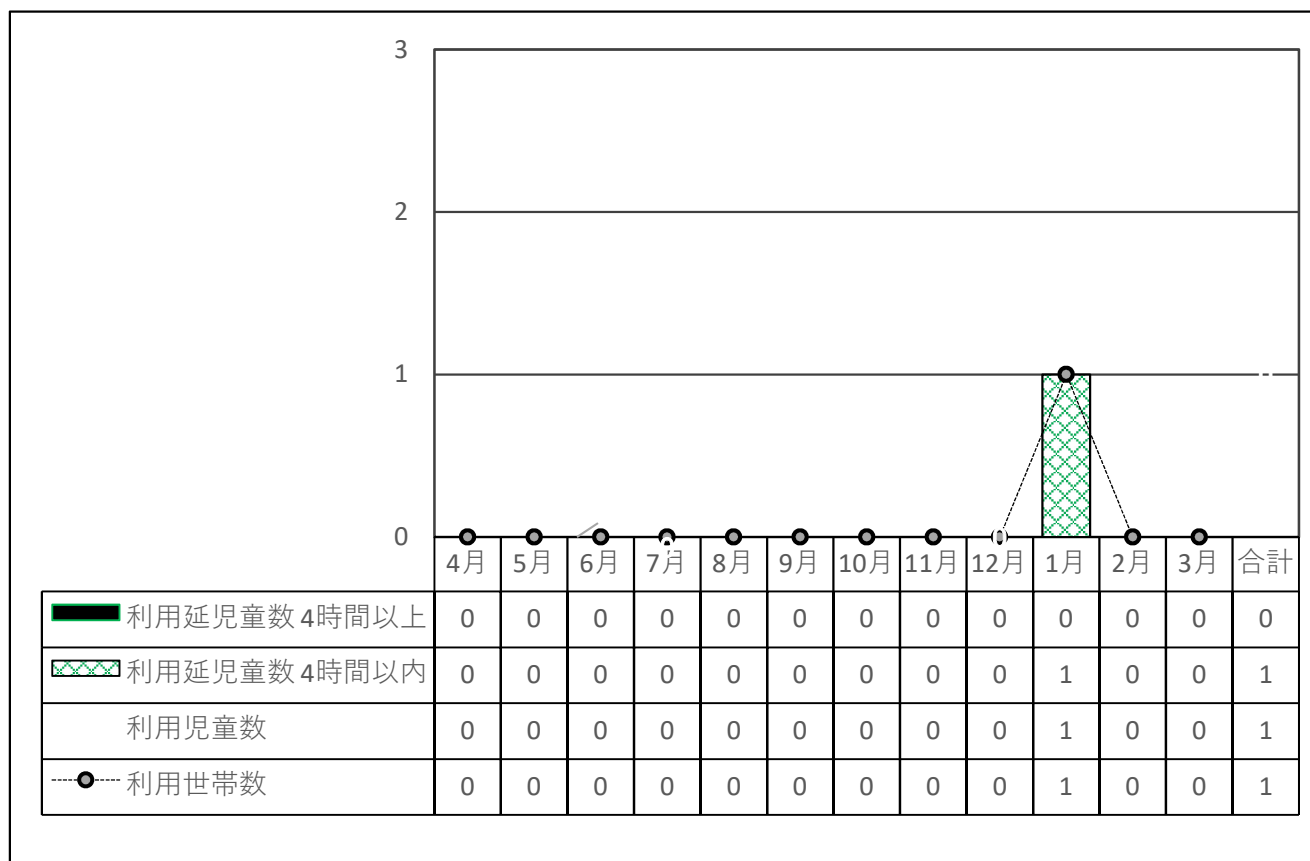
多 伎 こ ど も 園

令和6年度月別園児在籍数（月初め）

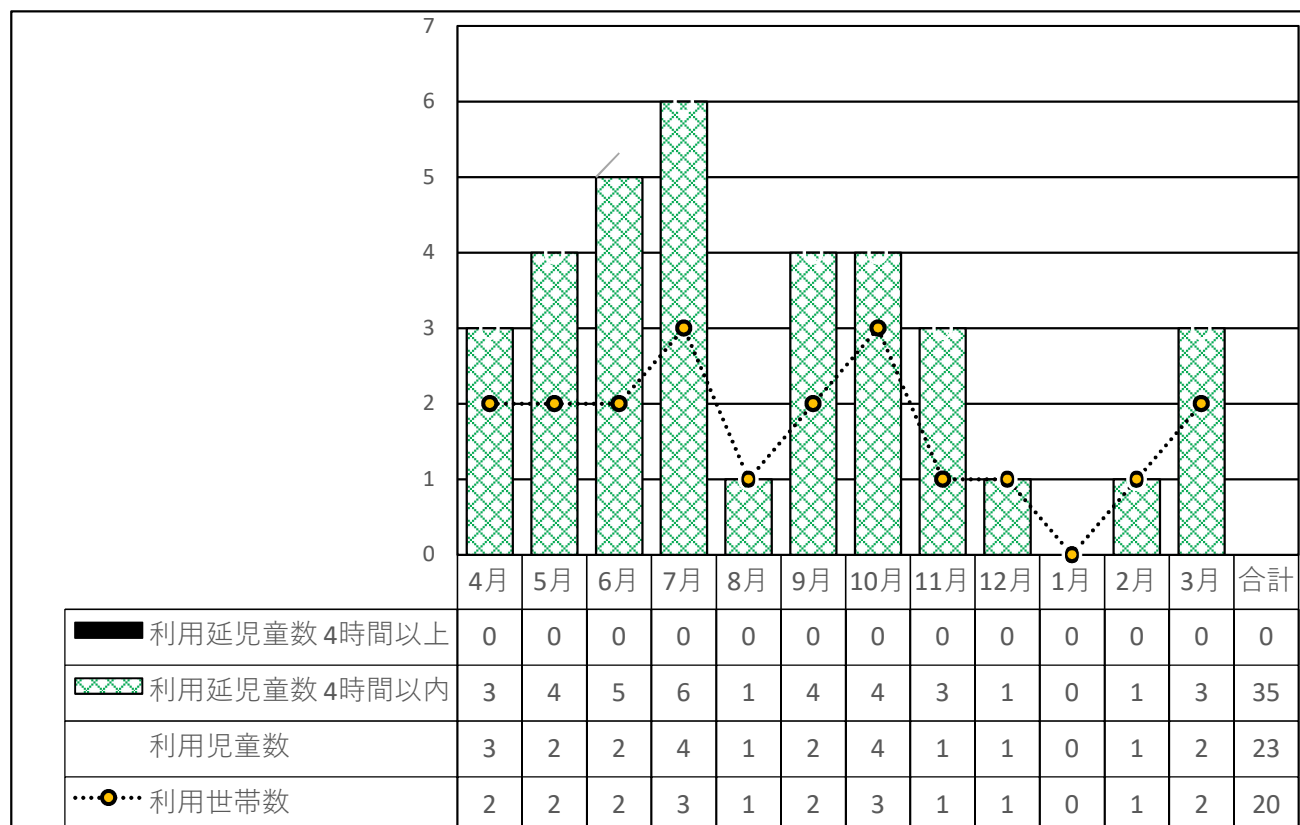


5歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
4歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
3歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14
1歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
0歳児	4	4	5	5	5	5	6	6	9	10	11	12
市内	76	76	77	77	77	77	78	78	82	83	84	85
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	76	76	77	77	77	77	78	78	82	83	84	85

令和6年度一時保育事業



令和6年度延長保育事業



教育・保育の取り組み

今年度の取り組みと反省

- 教育課程をもとに、年間指導計画・月案・週案を作成し保育に取り組んだ。月末にカリキュラム会を行い保育の検討をし、毎月反省と評価をすることができた。
- 今年度も、昨年子どもたちがとても楽しんだ、『夏祭りごっこ』を職員と園児で行った。計画や準備を子どもたちが主体的に取り組み、お店のコーナーやジュースやさん等、楽しい体験を通して、子どもたちの良い表情が沢山見られた。また、今年度は、近隣6園の職員の方を招待した公開保育も行い、職員研修としても充実した活動となった。
- 職員研修を全職員で受講できるように、今年は、人権司和研修を2日間の日程で行い、午睡時間に交代で受講した。改めて、職員全員で、学ぶ良い時間になった。
- 行事については、昨年同様年齢別に公開保育を行い、複数名お子さんがおられるご家庭も、一人一人のお子さんの様子を見ていただくことが出来た。また、今年度は、新たに、保護者講演会として、人権司和研修を4日間も受け、都合のつく日時に参加していただいた。ご家庭の状況で、日時を選択していただく研修を行ったことで、全世帯の半数以上の方が、研修に参加していただくことが出来た。
- 今年度から、各年齢の公開保育を行う際に、保護者同士の交流も兼ねて、クラス懇談の時間も設定した。保護者同士で、お子さんについて意見交換を行うことができる良い機会となったと感想をいただいた。

内 容	対象児	講師等	活動内容
生活習慣の自立に向けて	全園児		• 一日の生活の見直し • あいさつ運動 • 給食指導 手洗い指導 歯磨き指導 • 当番活動の工夫 • 家庭との連携 • 保護者さんへのアンケート実施
自然体験活動	全園児		• 園外保育 地域の自然とのふれあい • トゥーリーマキ公園・シーサイド公園・小田こども広場 • 砂浜、海辺体験遊び • 年齢に応じた山登り体験 • 生き物の飼育
体力づくり	全園児		• おひさまタイム（マラソン・体操）・集団遊び • 園庭（鉄棒・雲梯・ジャングルジム・ホッピング） • ボール遊び（サッカー・ドッジボール）・縄跳び • 砂、土、水遊び ・竹馬 ・一輪車 ・長縄とび
習字の活動	5歳児	持田護先生	• 6月から2月まで月1回。 • 活動時間の間、正座の姿勢を保ち、集中して取り組む。 • 道具を大切に扱い、準備や片付けを自分でする。
夏の特別活動	5歳児		• 特別保育ならではの園外活動や夏の遊び、その他クッキングも取り入れ、夕方まで長時間保育を計画して行った。

太鼓の活動	5歳児	山根浩先生	・太鼓に対する心構えを知り、姿勢を保ち集中して取り組む。 ・講師の先生に指導してもらい、太鼓を打つ。 ・多伎町音楽祭やキラキラフェスティバルで披露する。
銭太鼓の活動	4歳児	持田郁世先生他	・地域ボランティア講師の先生に指導してもらう。 ・銭太鼓に対する姿勢や心構えを知り、曲に合わせて打つ。 ・多伎町音楽祭やキラキラフェスティバルで披露。
お話プレゼント	0歳児から5歳児	ボランティア きらりんこさん	・5歳児は月に1回、その他の年齢は、毎月交代で各年齢に合わせた教材での読み聞かせをしてもらう。
体操教室	5歳児	ジョイナススポーツクラブ	・月1回、講師の先生に指導していただき、様々な運動遊びや運動会の内容の指導をしてもらう。
おりっこ教室	5歳児	地域ボランティアの皆さん	・月に1回、ボランティアの方が提案してくださる題材で遊べる折り紙の指導をしてもらい、一緒に実演して遊ぶ。
絵本の読み聞かせ	0歳児から5歳児		・週1回（木）絵本の貸し出し ・状況によって絵本の補充 ・園での読み聞かせの充実
人権・同和教育を視点においた保育	全園児		・異年齢児とのかかわり ・小動物とのかかわり
食育活動	2歳児以上		・園児が夏野菜の栽培をしたり生長を観察したりし、収穫をする。 ・収穫した野菜を給食に取り入れ、味わう経験をする。 ・芋苗植え、収穫（給食、おやつで使用） ・さんまパーティー・もちつき等
たきっこウィーク	3・4・5歳児		・たきっこウィークは、毎月第1週に実施 親子でがんばり表に記録。 ・6時30分に起床し生活リズムを整える。 ・保護者と連携（朝食を食べること）お手伝い ・テレビ視聴を少なくし家族のふれ合いをもつ。 ・小中学校と連携を図りながら取り組む。

給食の取り組み

◎ 特別献立

月	特別献立	健康力ミカミメニュー	弁当日	青空給食	ふるさと食の日
4月	18日 4月の誕生会献立	16日	9日	25日	10日
	23日 入園進級おめでとう献立				
5月	20日 5月の誕生会献立	14日	10日	31日	8日
6月	22日 6月の誕生会献立	25日		12日	11日
7月	7日 七夕献立	25日			8日
	8日 年長児特別活動メニュー				
	17日 7月誕生会献立				
8月	23日 8月の誕生会献立	27日			5日
9月	17日 お月見献立	26日	19日	12日	9日
	10日 9月の誕生会献立				
10月	8日 さんまパーティー	21日	2日	11日	16日
	17日 10月の誕生会献立				
11月	年長児希望献立		8日	14日	
	8日 こども園まつり				
	21日 11月の誕生会献立				
12月	13日 12月の誕生会献立	11日	6日		3日
	20日 クリスマスメニュー				
1月	21日 1月の誕生会献立	30日	4日		15日
	17日 もちつき会				
2月	3日 節分会メニュー	20日	17日		12日
	19日 2月の誕生会献立				
3月	3日 ひなまつり&3月の誕生会献立	25日	31日	12日	10日

◎ 取り組みについて

- ・未満児クラスにおいて、引続いて成長による咀嚼力の個人差が大きいため個別対応できるようキッチンばさみや適当な食具の提供を行った。また調理工程によっては噛めないものもあり、軟らかく茹でるなどクラスによって適した対応を行った。
- ・Q、1歳クラスにおいて、園内で食物アレルギー反応が出ないよう未経験食材調査票を作成し、未経験の食材は提供しないようにした。一覧表作成し、厨房と0歳児クラスは共有するようにした、さらに、配膳室でも確認を取れるようにした。
- ・かたら団子作りは、昨年同様かたらの葉を園児と職員で取りに行ったものを使用し、以上児クラスは、自分が食べる団子を自分で作り、おやつで提供した。日本の伝統である行事食であり、由来なども伝えることができた。
- ・年長児特別活動では、昼食で、自分達が考えたおかずを自分でお弁当につめて食べた。また、おやつも特別なものを用意し、夕食も子どもたちのリクエストメニューを提供することができた。
- ・夏野菜の栽培を各クラスで行い、素材の味を生かした味付けをして各クラスで食べたり、給食で提供したりした。夏野菜は、以上児で『夏野菜カレークッキング』を行った。秋には、さつま芋の収穫量も多く、行事や毎日の献立で使用した。
- ・今年も毎月、誕生会に合わせて誕生会特別メニューを提供し、見た目でも楽しめるように工夫して提供した。おやつにはバースデーケーキを提供し、1日を通して誕生月の園児をお祝いすることができる雰囲気になるように心がけた。玄関に写真を飾って保護者にも見ていただけるようにした。
- ・毎月食育だよりを配布することで、食の重要性や、子どもの健康促進に役立つこと、また教養についても発信し、家庭でも意識してもらえよう働きかけた。
- ・引続いて、誤飲窒息事故が起きないように、球体のものは1/4カット、または1/2カットにするか、つぶして使用した。また、弁当日にカットしていない家庭が多く、弁当日の前日にはカットのお知らせと模型を作製して伝えるようにした。
- ・以前年度末に行っていた年長児の希望献立は、感染症が流行りやすい時期の為、今年も昨年同様11月に行った。

避難訓練実施報告書

実施日	設定	時間	ねらい
4.26	火災	10:15	○非常ベルの音と放送を聞きその意味や避難の仕方を知る。(園児) ○非常ベルの音と放送に慣れる。(園児) ○職員は避難誘導、連携などを確認する。(職員)
5.20	大雨 (風水害)	10:00	○風水害時の安全な避難の仕方を知り、速やかに避難する。(園児) ○水害時の安全な避難場所を知り、保育教諭の指示に従い落ち着いて避難する。(園児) ○正しい情報を得ながら、園児を安全な場所に避難誘導をする。(職員)
6.18	地震	7:30	○担任以外の保育教諭と落ち着いて避難する。(園児) ○早朝の想定であるので、登園してきた園児の安全確認を行う。(職員) ○避難訓練とは別日で心肺蘇生、AEDの仕様方法について動画で学び、理解を深める。(職員)
7.8	不審者	10:00	○保育教諭の指示に従い、避難する方法を知る。(園児) ○不審者に出会った時の約束などを子ども達と考えたり、確認したりする。(園児) ○不審者発見し素早く対応し、職員同士で連携を図り子どもの安全確保を行う。(職員) ○職員同士で連携を図り役割を確認したうえで一人一人が速やかに行動する。(職員)
8.19	地震 津波 原発事故	9:30	○地震、津波、原発事故発生時の安全な避難の仕方を知り、保育教諭の指示に従って、迅速に避難する。(園児) ○職員間で連携を取り、地震や津波の状況確認をする。(職員) ○園児の安全を確保し、正確な人数確認を行い、職員間の連携、迅速な対応の仕方を身に付ける。
9.16	地震 火災	10:00	○地震や火災発生時の避難の仕方を知り、保育教諭の指示に従い、落ち着いて避難する方法を知る。(園児) ○地震や火災発生時の安全な避難経路、場所を確認するとともに、子どもの人数や情報把握を迅速に行う。 ○職員同士で連携を取り、役割を確認したうえで、一人一人が速やかに行動する。
10.24	地震 津波	10:00	○地震や津波発生時の避難の仕方を知り、保育教諭の指示に従い、落ち着いて避難する。(園児) ○地震や津波発生時の安全な避難の仕方を確認するとともに、子どもの人数や把握状況を迅速に行う。(職員) ○職員同士で連携を図り、役割を確認したうえで、一人一人が速やかに行動する。(職員)
11.25	地震 火災	17:40	○地震、火災発生時の安全な避難の仕方を知り、担任以外の保育教諭の指示にしたがって落ち着いて避難する。(園児) ○地震、火災発生時の安全な避難経路、場所を確認するとともに園児の安全を確保し、正確な人数確認と状況把握を迅速に行う。(職員) ○職員の連携、迅速な対応が身に付くように、役割を確認した上で一人一人速やかに行動する。
12.19	火災	10:00	○火災発生時の安全な避難の仕方を知り、担任以外の保育教諭の指示に従って落ち着いて避難する。(園児) ○火災発生時の安全な避難経路、場所を確認するとともに園児の安全を確保し、人数確認と状況把握を迅速に行う。(職員) ○役割確認し、一人一人が速やかに行動し、職員に情報を連絡にて正しく伝える。(職員)
1.25	火災	10:40	○火災発生時の安全な避難の仕方を知り、担任以外の保育教諭と落ち着いて避難する。(園児) ○人数の少ない曜日やいつもと違うクラスの職員間の連携を行い、迅速な対応の仕方が身に付くようにする。(職員) ○役割を確認した上で一人一人が速やかに行動する。その後、職員に情報を連絡網にて正しく伝える。(職員)
2.20	不審者	10:00	○不審者に対処する方法を知る。(園児) ○保育教諭の指示に従い、避難する方法を知る。(園児) ○不審者の発見に素早く対応し、職員同士で連携を図り子どもの安全確保を行う。(職員) ○職員間で役割を確認したうえで、一人一人が速やかに行動する。(職員)
3.24	地震 火災 津波	10:30	○地震、津波、火災発生時の安全な避難の仕方を知り、保育教諭の指示に従って、落ち着いて避難する。(園児) ○職員間で連携を取り、地震、火災や津波の状況確認を行う。(職員) ○園児の安全を確保し、正確な人数確認を行い、職員間の連携・迅速な対応の仕方を身に付ける。(職員)

定例会

○所長会

月・日	場 所	内 容
4月16日	高浜コミセン	出雲市より新年度の異動挨拶と、行政説明・各委員会からの報告
5月23日	朱鷺会館	出雲市より行政説明・各委員会からの報告
6月10日	出雲市役所	出雲市より行政説明・各委員会からの報告
7月16日	出雲市役所	出雲市より行政説明・各委員会からの報告
8月21日	出雲市役所	出雲市より行政説明・各委員会からの報告
9月17日	出雲市役所	出雲市より行政説明・各委員会からの報告
10月11日	出雲市役所	出雲市より行政説明・各委員会からの報告・今後の市立幼稚園のあり方について
11月20日	出雲文化伝承館	出雲市より行政説明・各委員会からの報告・R7年度入所確認書類等について
12月9日	出雲文化伝承館	出雲市より行政説明（出雲市こども計画に係るパブリックコメント）・各委員会からの報告
1月15日	出雲文化伝承館	出雲市より行政説明・各委員会からの報告
2月19日	出雲文化伝承館	出雲市より行政説明（食物除去指示書の変更について他）・各委員会からの報告
3月19日	出雲文化伝承館	出雲市より行政説明・年中児発達相談について・各委員会からの報告・退職挨拶等

○主任会

月・日	場 所	内 容
4月10日	出西コミセン	諸連絡、担当者ごとの話し合い
5月7日	長浜コミセン	諸連絡、保護者連合連絡事項、担当者ごとの話し合い
6月4日	鳶巣コミセン	諸連絡、保育士派遣事業について、担当者ごとの話し合い
7月2日	長浜コミセン	主任研修、諸連絡、担当者ごとの話し合い(フェスタ打ち合わせ)
8月6日	カミアリーナ	三部合同会報告、諸連絡、担当者ごとの話し合い
9月12日	朱鷺会館	諸連絡、子どもフェスタについて、担当者ごとの話し合い
10月1日	高浜コミセン	諸連絡、いずも子どもフェスタについて、担当者ごとの話し合い
11月5日	長浜コミセン	諸連絡、保育士派遣事業発表、担当者ごとの話し合い
12月3日	長浜コミセン	諸連絡、担当者ごとの話し合い
1月7日	高浜コミセン	諸連絡、担当者ごとに今年度の反省、事業報告
2月4日	長浜コミセン	諸連絡、来年度の係り決め、引継ぎ、その他
3月4日	高浜コミセン	令和6年度の振り返り・令和7年度係りでの話し合い（活動計画の作成）

○調理担当者部会

月・日	場 所	内 容
4月11日	高浜コミセン	R6年度事業計画(案)、収支予算書(案)について
5月9日	高浜コミセン	理事会報告、グループ会
6月13日	浜山公園役員控室	グループ会
7月11日	出雲文化伝承館	衛生講習会、定例会、グループ会
8月8日	斐川文化会館	食育勉強会、グループ会
9月12日	出雲保健所	保健所栄養士さんとの交流会、グループ会
10月18日	出雲保健所	衛生講習会、定例会
11月14日	出西コミセン	諸連絡、グループ会
2月6日	長浜コミセン	令和7年度事業計画、グループ編成について
3月13日	浜山公園役員控室	令和6年度会計報告、令和7年度事業計画(案)収支予算(案)

- 令和6年度は、各部会とも通常開催で、活発に研修等も取り入れた定例会が行われた。研修では、他園の同じ職種や役職の職員の方と一緒に参加することで、情報交換も兼ねて充実した時間が過ごせたり、他園での良い取組等を参考にさせてもらったりすることが出来た。

交流の取り組み

○小学校・中学校交流

○保幼小交流の日

- ・就学先の学校に行き、各学校が計画する活動に参加したり、保護者も一緒に見学したりして、学校の様子を知ることの出来る機会となった。

○年中児そだちの応援シートについて

- ・年中児そだちの応援シートを活用し、就学先の小学校と連携をとった。また、町内の多伎小学校とは、令和6年度も4歳児アンケートにもとつき園児の活動を見てもらい、連絡会を行って連携を取る事が出来た。

○多伎中学校保育体験

- ・中学3年生の家庭科の学習から、中学生が手作りおもちゃを持参して園児と交流した。3歳児以上クラスの園児に中学生がグループに分かれて遊びの説明をして一緒に遊び良い交流になった。

○高齢者との交流（法人内、地域の高齢者クラブ）

月・日	活動内容	参加年齢
※法人内、地域の高齢者クラブとの交流を感染症感染防止の観点より再開しなかった。 しかし、高齢者クラブと社会福祉協議会主催の花いっぱい運動では、開花までの管理やプレートに絵を描く等して間接的ではあるが、園児が事業に協力した。		

○地域の事業に参加

月・日	活動内容	参加年齢
6月20日	交通安全教室	3.4.5歳児
10月26～27日	多伎町文化祭作品展示・音楽祭	全園児 音楽祭（3.4.5歳児）
2月17日	年長児交通安全教室	年長児

- ・今年も音楽祭に参加し、3歳以上児が歌や、銭太鼓、和太鼓をステージで披露した。作品展も例年通り参加した。
- ・交通安全教室については、今年も年2回行った。2月にはコミセン主催により、就学前の年長児が、交通安全の様々な教材をつかったとても充実した内容の指導を出雲警察や多伎駐在所の方にしていただいた。その他、交対協の方やコミセン職員の方にもお手伝いいただきながら指導を受けたことで、さらに交通安全への意識につながった。

○保育実習などについて

- ・今年度も、実習生の受入を行った。教育実習生を1名と保育実習生を1名の2名を受入れ、保育の振り返りを行う中で、職員も改めて自分の保育を振り返る良い機会となった。また、今後も可能な範囲で受入を行い、少しでも新しい保育教諭の人材育成につながるようにしていきたい。

行事等実施状況

月 日		内 容	月 日		内 容
4月	8日	始業式	11月	8日	こども園まつり
	23日	入園進級おめでとうの会		12~15日	保護者講演会
5月	10日	芝すべり		14日	歯科検診
	15日	公開保育(5歳児)		20日	内科検診
	15日	公開保育(5歳児)	12月	7日	キラキラフェスティバル(2~5歳児)
	17日	芋苗植え(3.4.5歳児)		20日	クリスマス会
	30日	公開保育(3歳児)		25日	終業式(3.4.5歳児)
6月	4日	歯磨き指導		26日	1号認定児冬季休暇
	12日	内科検診		27日	希望保育(2.3号認定児)・保育終了
	13日	かたら団子作り		30~31日	年末休暇
	20日	交通安全教室(3.4.5歳児)	1月	1~3日	年始休暇
	20日	歯科検診		6日	平常保育開始(2.3号認定児)
	26日	耳鼻科検診(3.4.5歳児)		8日	始業式(3.4.5歳児)
	27日	公開保育(4歳児)		24日	雪遊び(5歳児)
	28日	プール開き		29日	多伎小交流日(5歳児)
	29日	保護者会親子活動(全園児)	2月	3日	節分会
7月	3日	高速道路イベント(5歳児)		17日	交通安全教室(5歳児)
	19日	年長児夏の特別活動(5歳児)		25日	ドッジボール大会(5歳児)
	19日	終業式(3.4.6歳児)		27日	お別れ会
	26日	2歳児公開保育	3月	3日	ひな祭り会
8月	8日	夏野菜カレー作り(3.4.5歳児)		16日	卒園式
	29日	夏祭りごっこ(3.4.5歳児)	毎月実施の行事	たきっ子ウィーク(毎月1週目) 誕生会 職員会議 習字の日 和太鼓・銭太鼓 体操教室 おりっこ教室 お話プレゼント 避難訓練	
9月	2日	始業式(3.4.5歳児)			
	19日	公開保育(1歳児)			
	20日	公開保育(0歳児)			
10月	5日	運動会(2~5歳児)			
	8日	さんまパーティー			
	16日	芋ほり			
	16日	保幼小交流の日			
	18日	大平山登山(5歳児)			
	26日	多伎町音楽祭(3.4.5歳児)			
	31日	大黒山登山(3.4歳児)			

地域子育て支援センター事業報告書

月	内容・テーマ	参加人数	月	内容・テーマ	参加人数
4	好きなおもちゃで遊ぼう	0	10	散歩に行こう	8
	風船で遊ぼう	2		風船で遊ぼう	0
	散歩に行こう	0		すくすくハッピー広場	6
	すくすくハッピー広場	4		運動会ごっこを楽しもう	11
	親子読書を楽しもう	2		好きな玩具で遊ぼう	2
	散歩に行こう	2		にこにこあかちゃん相談	8
	こいのぼりを作ろう	4		おひるねアートを楽しもう	8
	にこにこあかちゃん相談	0		手型、足型アートを楽しもう	11
5	散歩に行こう	4	11	おひるねアートを楽しもう	2
	触れ合い遊びを楽しもう	2		すくすくハッピー広場	4
	すくすくハッピー広場	2		散歩に行こう	2
	散歩に行こう	0		秋のマラカスを作ろう	4
	体を動かして遊ぼう	0		体を動かして遊ぼう	6
	制作『おもちゃを作って遊ぼう』	0		にこにこあかちゃん相談	8
	にこにこあかちゃん相談	2		小麦粉粘土で遊ぼう	6
	ボールプールで遊ぼう	0		風船で遊ぼう	2
6	歯磨き指導	8	12	体を動かして遊ぼう	2
	散歩に行こう	4		季節の絵本を楽しもう	0
	小麦粉粘土で遊ぼう	2		クリスマスの飾りを作ろう	4
	すくすくハッピー広場	4		すくすくハッピー広場	4
	絵本や紙芝居を楽しもう	4		風船やボールで遊ぼう	0
	おひるねアートを楽しもう	4		おひるねアートを楽しもう	0
	体を動かして遊ぼう	0		クリスマス会	6
	にこにこあかちゃん相談	6		にこにこあかちゃん相談	9
7	触れ合い遊びを楽しもう	2	1	好きな遊びを楽しもう	2
	七夕飾りを作ろう(七夕会)	4		すくすくハッピー広場	2
	水の感触遊びを楽しもう	2		小麦粉粘土で遊ぼう	2
	すくすくハッピー広場	4		ヘビを作ろう	0
	運動遊びを楽しもう	2		ボールや風船で遊ぼう	6
	おひるねアートを楽しもう	0		おひるねアートを楽しもう	4
	にこにこあかちゃん相談	2		鬼のお面を作ろう	0
	水遊びを楽しもう	4		にこにこあかちゃん相談	4
8	小麦粉粘土で遊ぼう	2	2	季節の絵本を楽しもう	0
	水の感触遊びを楽しもう	2		モビールを作って遊ぼう	0
	絵本や紙芝居を楽しもう	2		おひるねアートを楽しもう	6
	すくすくハッピー広場	4		すくすくハッピー広場	6
	スタンプ遊びをしよう	4		新聞紙で遊ぼう	4
	にこにこあかちゃん相談	4		おひなさまを作ろう	6
	おひるねアートを楽しもう	4		体を動かして遊ぼう	4
	水遊びを楽しもう	0		にこにこあかちゃん相談	6
9	ボールプールで遊ぼう	0	3	ボールや風船で遊ぼう	2
	絵の具遊びを楽しもう	4		小麦粉粘土で遊ぼう	4
	誕生会に参加しよう	6		おひるねアートを楽しもう	10
	すくすくハッピー広場	8		すくすくハッピー広場	10
	体を動かして遊ぼう	2		散歩に行こう	2
	散歩に行こう	0		体を動かして遊ぼう	0
	おひるねアートを楽しもう	2		にこにこあかちゃん相談	4
	にこにこあかちゃん相談	2		好きな遊びを楽しもう	4

(取り組みについて)

・今年度は、昨年に続いて年度当初は感染症予防のためお茶タイム等はの飲食は行って居なかったが、4/23日より、感染対策を行いながら、コロナ以前のように、お茶タイムを再開した。まだ、他のセンターでは、お茶の時間が再開していない場所が多いようで、この時間も楽しみにして利用される方もおられた。

・昨年は、利用者が0人が続くことが多かったが、今年度は、2.3組ではあるものの、わりと安定して利用していただくことが出来て良かった。

・利用者は1歳未満の参加者が多かったので、月齢や発達に合わせておもちゃの種類や環境作りを工夫し、それぞれにより良い時間を過ごしたり、異年齢の関わりが持てたりするようにした。2時間近くたっぷり遊ぶ親子や、11時前に身体測定を目的で来る親子など、利用のし方はまちまちであったが、それぞれの家庭が気軽に立ち寄って楽しんでいただけた。

・利用者は町内の方がほとんどで、親同士の年齢が近く、子育てに関する話だけでなく和気あいあいと楽しく過ごしている姿が伺えた。今後も色々な友達と関わることでできる機会を大切に、子どもも大人もほっと一息つくことのできる時間を作っていきたいと思う。

令和7年1月31日

保護者の皆様

保護者アンケートの結果について

多伎こども園
園長 加地妙香

今年度も、こども園の活動についてアンケートにご協力いただきありがとうございました。大変遅くなりましたが、下記の通り、アンケート集計結果が出ましたので報告致します。

多伎こども園の取り組みについて

次の12項目についてA～Eで評価し、該当の欄に○印をつけてください。なお答えにくい項目については回答されなくてもかまいません。

(A・・・そう思う、B・・・やや思う、C・・・あまり思わない、D・・・思わない E・・・わからない)

	項 目	A	B	C	D	E	肯定率
1	子どもはこども園に行くのを楽しみにしている。	40	25	1	0	2	96%
2	こども園は、目指すこども園像の実現に向けた取り組みが行われている。	43	22	1	0	2	96%
3	こども園は、園の特色や実態を活かした教育活動が行われている。	40	26	1	0	1	97%
4	職員は、一人一人の子どもをよく理解し、子どもの意欲を引き出し、自信がもてるように心がけている。	48	18	2	0	0	97%
5	こども園では、子どもにとって豊かな体験ができる教育の場や活動が工夫されている。	52	15	1	0	0	99%
6	子どもは自分でできる事は、自分でしようとしている。	28	35	2	2	1	93%
7	子どもは、子ども同士または知っている人に会った時にあいさつをしている。	20	31	10	3	3	75%
8	子どもは、約束やきまりを守ろうとしている。	30	24	6	3	4	79%
9	子どもは、友達とのかかわりの中で、思いやりの心や優しい心が育ってきている。	38	23	4	1	1	90%
10	子どもは、飼育栽培を通して生命を大切にする心が育ってきている。	22	23	5	2	8	75%
11	こども園では、行事や活動が工夫されている。	37	29	1			98%
12	こども園では、健康・安全について十分な配慮がされている。	44	23	0	1	0	98%
13	こども園では、子どもの個人に関する情報が守られている。	49	18	0	0	0	98%
14	こども園からの緊急連絡がスムーズに伝わるような仕組みになっている。	57	11	0	0	0	100%
15	こども園の施設・設備は、子どもが生活しやすいように整えられている。	49	12	1	0	5	90%
16	こども園と保護者、こども園と地域の協力関係ができています。	40	25	0	0	3	96%
17	こども園からのお知らせ、学級の様子等、必要なことをわかりやすく伝えている。	46	24	0	0	0	99%
18	こども園には、子どもに関する相談が気軽にできる雰囲気がある。	41	21	0	0	0	96%

各項目共に、肯定率（A+B よいという意見）がほとんどで、よい評価をいただいたと考えます。

（一般的には、70%を越すとかなりよい評価といわれています）

比較的に評価が低かった項目については、全職員で話し合い、改善できるように努力していきたいと考えます。また1については、100%になるように、ご家庭と協力しながら、取り組んでいきたいと思っております。

具体的なお意見、ご感想も記入していただき、ありがとうございました。

○質問（ご意見）と回答

（※各ご意見等、お一人のご意見等がほとんどでした。複数ある項目には、複数と記入しております。）

質問（ご意見）	回答
参観日以外にも、園での様子を見られる機会が欲しい。（迎えの時等）（1歳児）	1月より、園の体制で、0、1歳児の方は、登園時保育室まで入室いただいております。また、降園時もそのようなご協力をお願いさせていただくことになりました。少しでも、様子を見ていただく機会となればと思います。また、気になられる時や、荷物の確認等、職員に声をかけていただくと園内での様子もご覧いただけますので、お声かけください。
オムツを園で捨ててほしいです。（1歳児）	当園では、排便のオムツは園で捨てさせていただいております。排尿については、園での尿の回数等、お子さんの体調把握をご家庭と一緒にやる意味でもそのようにしております。今後、検討はしていきます。
職員によりますが、もう少し気配りができると良いと思います。もちろんできておられる方もいます。また、迎えの際、その日の様子を教えて頂けると嬉しいです。	気配りについて、そのように感じられる場面があったことを真摯に受け止め、全職員で改善していきたいと思います。また、迎えの際、玄関で日中の様子をお伝え出来ない日があるかもしれませんが、お一人お一人連絡ノートで様子を伝えさせていただいております。尚、迎えの際、保護者の方にお会いできる場合は、様子をお伝え出来るように今後も努めてまいります。
「子どもが可愛い」ということと、「子育てが大変だ」ということが別物だということとを理解できる世の中になって欲しい。	保護者の皆さんの様々な子育てに関する困り感や困難さを、今後も園職員で共有し、サポートできるように努めていきたいと思っています。
連絡ノートで印鑑のみの日（職員会議や行事の準備の日）などは、今日あったことを教えていただけると嬉しいです。（1歳児）	まだ、お子さんの年齢が小さい場合は、お子さんから伝えることが難しいのですが、印鑑のみの日は、ミニだより等を貼る等していますが、さらに、何らかの方法で、お伝えできるように工夫したいと思っています。

○ご感想

- ・こども園の先生方には日頃からお世話になり、いつも感謝感謝です。ノートの内容や子ども達が話してくれるお口ノートで先生方が子ども達のことを大切にかかわってくださっているのが伝わってきます。自分の子どもと一緒に子どもの成長を喜んで見守ってくれていて、先生方は心強いです。いつもありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。安心して預けられ、仕事ができます。
- ・年長児になり、様々な行事の中で「努力すること」そしてやりとげた「よろこび」を感じる事が大きな成長につながっていると感じました。様々な経験をありがとうございます。
- ・園には、とにかく感謝しかありません。ありがとうございます。（他、日々の労いやお礼など、複数のご感想をいただきました）

ご家庭の取り組みについて

	項 目	A	B	C	D	E	肯定率
1	早寝・早起き・朝ごはん等、子どもに規則正しい生活をさせている。	13	27	5	1	0	87%
2	子どもに本の読み聞かせなどを行っている。	19	17	8	1	0	78%
3	子どもと話したり遊んだりする時間をとるようにしている。	24	22	0	0	0	100%
4	テレビ・ゲームの内容や時間をきちんと指導をしている。	11	20	10	5	0	67%
5	あいさつ・言葉遣い・片付けなどしつけに力をいれている。	13	24	8	1	0	80%
6	何でも買い与えないように気をつけている。	17	23	6	0	0	87%
7	子どもは睡眠時間を9時間以上はとっている。	24	1	5	1	0	87%
8	出来ることは自分でさせるようにしている。	21	22	3	0	0	93%
9	運動・食べ物など健康づくりに気をつけている。	18	22	5	1	0	87%
10	こども園からの便りは必ず読む。	37	8	1	0	0	98%
11	こども園や保護者会活動に協力的である。	11	15	16	4	0	57%
12	子育てについて悩むことが多い。	27	17	0	1	1	96%

今回も園のアンケートに合わせ家庭での取り組みもアンケートさせていただきました。

改善が必要なご家庭は、今一度家庭で話し合ってください、少しでも改善ができるような取り組みをしていただきたいと思います。

項目12の「子育てについての悩み」は、園の方でも、クラス懇談や個人面談などを計画しておりますので、保護者の皆様と一緒にお子さんの子育てについて取り組んでいきたいと考えております。どうぞお気軽に声をかけてください。よろしくお願いいたします。

○今年度は、各ご家庭での子育てにおいて工夫していることや、取り組んでいることをお尋ねしたところ、沢山のご意見をいただきました。その中の一部をご紹介します。

- できたことではなく、やろうとしたこと、がんばったことに目を向ける。できる限り生活リズムを整えるために同じことを同じ時間にできるようにする。本当に助けを必要とするまで見守る。毎日その日にあったことや感じたことを聞き、沢山話す。
 - 特別なことはありませんが、心の栄養が足りていないなど感じる時は、「グュー」とハグして愛情を注入するように心がけています。
 - 危ないからと何でもダメと禁止せず、見守りのもとでやらせてみる。たくさんほめるようにしている。
 - 手伝いをお願いして、家族に一員として意欲的に役割を果たしてくれている。
- その他、多数、子育ての素敵な取り組みや工夫をお知らせいただきました。ありがとうございました。

☆皆様にいただいた貴重なご意見を大切に受け止め、今後も職員一同さらに団結して教育保育を行っていききたいと思います。また、多くの労いや励ましのお言葉をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。今後も保護者の皆様のご意見を大切にし、園運営をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。